

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	神林久雄
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	実施計画事業費	<b>内線</b>	3518
<b>事務事業名</b>	10666 道路改良事業（地域住宅支援）						
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
<b>施 策</b>	06033500 橋や道路整備の推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費					
	<b>事業</b>	030000 道路改良事業（地域住宅支援）					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
社会資本整備総合交付金の地域住宅支援事業を活用し、狭あい道路を地域の要望等により必要性や緊急性などを考慮して、地元合意により計画的に整備を図る。				狭あい道路の改良は緊急車両の進入が可能となり、また、地域住民の日常生活や地域振興に大きく貢献する役割を果たす。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成22年度 実績</b>	<b>平成23年度 実績</b>
組沖3号線外1路線 工事L=55m・用地・補償	須坂保育園前通り線 工事L=17.3m 北組沖3号線外1路線 工事L=120m・補償
<b>平成24年度 実績</b>	<b>平成25年度 実績</b>
亀ノ春2号線 用地・補償	坂田浄水場線 工事L=91.5m 亀ノ春2号線 工事L=93.4m
<b>平成26年度 実績</b>	<b>平成27年度 予定</b>
小山八幡線 工事L=90m	北組沖1号線外1路線 用地・補償 小山八幡線 工事L=90m

指標名	狭隘道路整備延長				
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標			90	90
	実績	137.3	0	183.9	90
指標選定の理由	地元要望、緊急度及び財源等により事業実施計画を策定				
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出				
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		5,985	7,020
特定財源	国庫支出金	2,234	3,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	2,268	3,100
	その他	0	0
一般財源		1,483	420
人員数(人)	正規職員	1.0	1.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	9,601.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,858.0	9,601.2
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		12,843.0	16,621.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	1,869	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,116	立木等補償

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	7,020	工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	狭あい道路の改良は緊急車両の進入が可能となり、地域住民の日常生活や地域振興に大きく貢献する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	地元要望・緊急度等から優先順位を決め整備。安心安全な市民生活の確保が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	現地踏査等によりコスト削減を検討し整備を実施。事業は国の交付金を活用し実施。受益者負担金は過去の経過等から困難と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

実施計画どおりに事業は順調に進捗している。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
狭隘道路の解消に向け、計画的に整備を行う。		地域住民の快適な住環境整備を図るために、財源の確保と計画的な整備を進める	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	